

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和7年 4 月 1 日

計画の名称	34 岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした都市基盤づくり																
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度 (5年間)					交付対象	盛岡市										
計画の目標																	
I にぎわいのある市街地の形成 ・岩手飯岡駅につながる都市計画道路地を整備し、周辺区域への人口定着を図るため、良好な宅地を整備し健全な市街地を確保する。																	
計画の成果目標 (定量的指標)																	
・区域内人口。 ・到達時間。																	
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考					
① 区域内人口 区域内定住人口 ② 国道4号から岩手飯岡駅までの到達時間 到達時間 (分)										当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)		最終目標値 (H34末)				
										2, 261	2, 263		2, 265				
										25	23	20					
上段：計画 下段：実施																	
全体事業費	合計 (A + B + C)	912百万円 650百万円	A	912百万円 650百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0. 0%	0. 0%						
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期												
課内組織にて事後評価を実施					令和7年4月												
					公表の方法												
					担当事務課で公表												
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業 (道路事業)																	
上段：計画 下段：実施																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
34-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	都南中央第三地区((都)岩手飯岡駅三本柳線ほか)	区画整理26. 5ha	盛岡市	H30	H31	H32	H33	H34	756	
									区画整理26. 5ha							528	
34-A-2	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	(他)市道検断地5号線ほか	現道拡幅 L=0. 5km	盛岡市	H30	H31	H32	H33	H34	156	
									現道拡幅 L=0. 5km							122	
合計																912 650	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H30	H31	H32	H33	H34			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業														上段：計画					下段：実施	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考				
										H30	H31	H32	H33	H34						
									盛岡市											
															合計	0				
																0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		地区内道路の整備改善と良好な宅地の整備を実施したことにより、令和4年度（平成34年度）末時点で「区域内定住人口」が2,267人（当初目標値100.0%）, 「国道4号から岩手飯岡駅までの到達時間」が20分（当初目標値100.0%）となり、幹線道路を中心とした都市基盤づくりが推進された。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（区域内人口）	最終目標値	2,265人	目標値と実績値に差が出た要因	
			住基		
		最終実績値	2,267人		
			住基		
	指標②（到達時間）	最終目標値	20分	目標値と実績値に差が出た要因	
			実測		
最終実績値		20分			
		実測			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・引き続き各事業を推進し、公共施設の整備改善と良好な宅地を整備することにより健全な市街地の基盤づくりを行う。					